



1 明南小1年生活科『南こども園との交流会に向けて』 9月9日(火)～

毎回、この形で授業が始まります



まとめは、グループ発表



「(担任)今日は、みんなと相談したいことがあるんだよ。」この言葉から単元が始まりました。『相談』という言葉には、「こんなことを、こうやってやります。」ではなく、子どもたちに委ね、「やりたい」「楽しみたい」思いに向かってチャレンジしてほしい(時間がかかってもトコトン)と願う、担任の思いが込められています。

1学期、園の子どもたちが小学校に散歩で訪れたとき、多くの1年生から、「もっと一緒に遊びたかったなあ。」という声を聞きました。そのことを、子どもたちに投げかけたのがスタートです。園の友だちと一緒に楽しみたいことがたくさん出され、子どもたちは「園の子といっしょに遊ぶ会」を行うことに決めました。希望で、『おまつり』と『いろいろ』の2つのグループに分かれて進めています。



①



②

『おまつりグループ』は、やりたいことを紙に書き始めましたが、マジックの取り合いになったり、紙が見えない子がいたりで喧嘩にもなり、なかなか進みません(写真①)。すると、子どもたちから、「イスを持ってきて円くならようよ。(写真②)」「書きたい人が順番で書こうよ。真ん中にいるのは書く人だけね。(写真②)」「リーダーを決めるとその人だけで決めちゃうからみんなで進めよう。」「似ているのは1つにしよう。」等、活動を進めるための子どもたちなりのルールや工夫が少しずつ出てきます。担任は、時折アドバイスをしますが、1年生であっても、子どもたちに任せる姿勢で見守っています。困ったときに担任がどう関わるか。そのことが、子どもたちの考える力や工夫する力を育てることにつながるのですね。

2 明北小6年 総合的な学習『修学旅行で明科をPRしよう』 9月・10月



地域のガイドマップ



地域の竹を生かした竹細工



上向き福だるま（明科ふきぼこの家にて）



明科のよさを絵で表す

6 学年は、『修学旅行で明科のよさをPRしよう』と、宿泊ホテルに掲示したり置いていただいたりするPR 物品を製作しています。地域の外部講師をお呼びしたり、施設に出向いたりして、追究テーマごと、または学級全員で学びを深めています。明科のよさを絵で表そうとしている児童は、明科中美術科の先生にお願いし、自分の願う絵になるようアドバイスをいただきました。この試みは、小中職員連携の意図からも、今後大切にしたいと思います。

3 明科小中三校『多様な学び学習室』 自立支援員懇談 9月19日(金)



小学校から中学校へ、子どもたちが安心して進学できるように、また、小・中それぞれの場で、その子が持つよさを活かして生活したり学んだりできるように、明科小中三校の自立支援員の先生方が定期的に懇談の機会を設けています。

中学校相談室で話をしていると、休み時間に、中学生が小学校の先生に会いに来ます。「今、〇〇をがんばっているよ。」と、とてもいい笑顔で答えているのが印象的でした。